



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月7日

上場取引所 東 福

上場会社名 リックス株式会社
 コード番号 7525 URL <http://www.rix.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 安井 龍之助
 (氏名) 荻田 透
 配当支払開始予定日

TEL 092-472-7311
 平成23年12月6日

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	14,515	14.0	576	11.5	621	13.3	332	84.0
23年3月期第2四半期	12,735	13.7	516	289.7	549	247.2	180	256.5

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 289百万円 (153.9%) 23年3月期第2四半期 114百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	39.20	—
23年3月期第2四半期	21.30	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	19,118	8,097	40.5
23年3月期	19,950	7,916	38.0

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 7,747百万円 23年3月期 7,571百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	4.00	—	12.00	16.00
24年3月期	—	8.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	10.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	29,200	7.5	1,100	△10.8	1,190	△9.4	590	△14.3	69.48

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	8,640,000 株	23年3月期	8,640,000 株
24年3月期2Q	148,505 株	23年3月期	148,505 株
24年3月期2Q	8,491,495 株	23年3月期2Q	8,491,753 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(その他)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	8
四半期連結包括利益計算書	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 継続企業の前提に関する注記	12
(5) セグメント情報等	12
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	14
(7) 重要な後発事象	14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第 2 四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、震災後の生産・輸出の大幅な落込みによる一時的な後退からほぼ回復しました。国内設備投資は期中に減少傾向が見えましたが、全体としては増勢を保ってきました。しかしながら当四半期後半には、欧米諸国の財政金融不安に伴うアジア経済の減速懸念および円高の進行により、国内経済の回復テンポに鈍化の傾向が現れてきました。

この状況の下、当社グループは顧客に対して、原価低減、省エネルギー、品質向上などの価値提案を主とした顧客密着営業を展開し、顧客の新規設備投資が抑制されるなかでも、生産比例品及び消耗品等の販売に注力することで、営業目標の達成に努力してまいりました。

この結果、当第 2 四半期連結累計期間の業績は、売上高145億15百万円（前年同期比14.0%増）、営業利益 5 億76百万円（前年同期比11.5%増）、経常利益 6 億21百万円（前年同期比13.3%増）、四半期純利益 3 億32百万円（前年同期比84.0%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

(鉄鋼業界)

同業界では、製鉄所の設備被害や自動車生産の低迷より粗鋼生産は一時減少となりましたが、自動車などの生産復旧により徐々に増加してきました。しかしながら当四半期後半の輸出事情の悪化などにより、粗鋼生産量は前年同期を下回る推移となりました。

当社グループにおきましては、製鋼用副資材として従来からの土壤黒鉛の販売が大幅に増加したほか、新しく開発したその他の製鋼用副資材の販売が伸張しました。このほか、各種機械の補修用品・消耗部品等の販売が堅調に推移し、また、原料工場向け雑鉄処理用搬送コンベアの販売が売上高増に寄与しました。この結果、同業界向け全体としての売上高は51億79百万円（前年同期比13.4%増）となりました。

(自動車業界)

同業界では、震災の影響で部品供給網が寸断され自動車生産台数の大幅な減少となり、その後急速に回復してはきましたが、前年同期比で約 2 割の減少となりました。一方、工作機械の受注は外需・内需ともに好調に推移し、前年同期比で約 3 割の大幅な増加となり、金融危機以前の水準近くまで回復しました。

当社グループにおきましては、自動車部品洗浄装置及びそれに使用される高圧ポンプの販売が伸びたほか、工作機械向けではクーラント装置に使用されるポンプや、従来からの主力商品である工作機械用ロータリージョイントの販売が伸びたことにより、自動車業界全体としては、売上高は24億87百万円（前年同期比35.5%増）となりました。

(電子・半導体業界)

同業界では、国内の半導体製造装置メーカーの受注に減少が見られましたが、世界的な半導体需要を背景に、なお半導体製造装置の販売は高水準の推移となりました。

当社グループにおきましては、ウェハ洗浄工程で使用されるフッ素樹脂性薬液タンクや、太陽電池製造工程で使用される石英ボートなどの製造装置部品類の販売が伸びましたが、前年同期の売上高に寄与した半導体バリ取り洗浄装置の販売減を補うに足りず、売上高は17億10百万円（前年同期比0.9%減）

となりました。

(ゴム・タイヤ業界)

海外のタイヤメーカーの加硫機増設により、加硫機用バルブ・機器の販売が大幅に増加し、さらに省エネ対策用に開発した加硫機用の高性能断熱板の販売が増加した結果、同業界向け全体としての売上高は14億62百万円（前年同期比17.1%増）となりました。

(環境業界)

水処理施設向けの逆浸透膜エレメントの販売が増加したほか、公共ごみ処理施設向けのダスト搬送装置や、排気煙道などに使用される耐熱ジャバラの販売が寄与し、売上高は5億92百万円（前年同期比11.4%増）となりました。

(紙パルプ業界)

各種ポンプ及びその消耗部品を中心とする販売により、同業界向けの売上高は3億31百万円（前年同期比0.9%減）となりました。

(化学業界)

当期の新しい取り組みとして、高機能素材メーカー各社に対する価値提案営業に注力した結果、ロール加熱・冷却用ロータリージョイントやフィルターなどの販売が伸びたほか、金属チタンメーカー向けでチタン炉開口機の販売が寄与し、同業界向け全体としての売上高は4億99百万円（前年同期比27.1%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末より6.1%減少し、147億99百万円となりました。これは、主に現金及び預金が10億84百万円減少したことなどによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末より2.9%増加し、43億18百万円となりました。これは、主に有形固定資産が61百万円増加したことなどによるものです。

これらの結果、総資産は、前連結会計年度末より4.2%減少し、191億18百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末より8.8%減少し、100億12百万円となりました。これは、主に支払手形及び買掛金が4億73百万円、短期借入金が1億61百万円、未払法人税等が2億70百万円それぞれ減少したことなどによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末より4.4%減少し、10億8百万円となりました。これは、主に長期借入金32百万円、役員退職慰労引当金が8百万円それぞれ減少したことなどによるものです。

これらの結果、負債合計は、前連結会計年度末より8.4%減少し、110億20百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末より2.3%増加し、80億97百万円となりました。これは、主に利益

剰余金が 2 億30 百万円増加したことなどによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第 2 四半期連結会計期間において、自動車業界向けの製・商品、特に自動車部品洗浄装置など自社製品の売上が増加し、親会社の業績が当初の見込みを上回ったことから、通期の業績予想を上方修正いたしました。

詳細につきましては、平成23年11月 7 日に別途公表いたしました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

平成24年 3 月期通期連結業績予想数値の修正(平成23年 4 月 1 日～平成24年 3 月31日)

(金額の単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	28,500	1,030	1,120	540	63.59
今回修正予想(B)	29,200	1,100	1,190	590	69.48
増減額(B-A)	700	70	70	50	
増減率(%)	2.5	6.8	6.3	9.3	
(ご参考)前期実績 (平成23年 3 月期)	27,171	1,232	1,313	688	81.07

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の算定方法

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて算定する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年 3 月31日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成23年 9 月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,126,278	2,041,970
受取手形及び売掛金	10,005,201	10,552,960
商品及び製品	931,308	847,292
仕掛品	111,243	※1 113,367
原材料及び貯蔵品	58,257	78,199
その他	1,529,051	1,173,535
貸倒引当金	△7,261	△7,673
流動資産合計	15,754,081	14,799,652
固定資産		
有形固定資産	1,735,741	1,797,582
無形固定資産	71,039	83,757
投資その他の資産		
投資有価証券	1,864,787	1,877,449
その他	549,131	569,935
貸倒引当金	△24,592	△10,147
投資その他の資産合計	2,389,326	2,437,238
固定資産合計	4,196,107	4,318,578
資産合計	19,950,188	19,118,230
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,961,292	7,488,032
短期借入金	1,617,400	1,455,560
1年内返済予定の長期借入金	67,722	64,705
未払法人税等	592,544	321,818
役員賞与引当金	—	23,332
その他	739,606	659,194
流動負債合計	10,978,566	10,012,643
固定負債		
長期借入金	49,991	17,622
退職給付引当金	529,467	528,743
役員退職慰労引当金	360,991	352,527
その他	114,594	109,459
固定負債合計	1,055,045	1,008,352
負債合計	12,033,611	11,020,995

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年 3 月31日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成23年 9 月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	827,900	827,900
資本剰余金	683,986	683,986
利益剰余金	6,050,343	6,281,166
自己株式	△79,036	△79,036
株主資本合計	7,483,193	7,714,016
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	168,309	117,682
為替換算調整勘定	△80,370	△84,089
その他の包括利益累計額合計	87,939	33,593
少数株主持分	345,444	349,624
純資産合計	7,916,577	8,097,234
負債純資産合計	19,950,188	19,118,230

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第 2 四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 9 月30日)
売上高	12,735,269	14,515,925
売上原価	10,300,790	11,793,251
売上総利益	2,434,478	2,722,674
販売費及び一般管理費	1,917,749	2,146,569
営業利益	516,729	576,104
営業外収益		
受取利息	1,352	1,435
受取配当金	10,536	12,706
持分法による投資利益	25,870	29,992
不動産賃貸料	16,051	12,344
その他	13,816	14,024
営業外収益合計	67,628	70,503
営業外費用		
支払利息	4,062	3,064
為替差損	21,392	17,973
投資事業組合運用損	3,910	2,741
その他	5,800	828
営業外費用合計	35,165	24,608
経常利益	549,192	621,999
特別利益		
固定資産売却益	—	70
保険解約返戻金	—	408
受取保険金	—	46,263
特別利益合計	—	46,742
特別損失		
減損損失	163	122
固定資産除却損	2,739	437
投資有価証券評価損	9,965	3,324
関係会社出資金評価損	108,935	—
会員権評価損	1,300	200
特別損失合計	123,103	4,085
税金等調整前四半期純利益	426,089	664,656
法人税等	227,123	311,680
少数株主損益調整前四半期純利益	198,965	352,976
少数株主利益	18,093	20,116
四半期純利益	180,871	332,859

四半期連結包括利益計算書
第 2 四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年 9 月 30 日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 9 月 30 日)
少数株主損益調整前四半期純利益	198,965	352,976
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△82,614	△60,286
為替換算調整勘定	△2,137	△3,718
持分法適用会社に対する持分相当額	△202	523
その他の包括利益合計	△84,953	△63,482
四半期包括利益	114,011	289,493
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	103,889	278,513
少数株主に係る四半期包括利益	10,122	10,979

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年 9 月 30 日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 9 月 30 日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	426,089	664,656
減価償却費	89,161	100,311
減損損失	163	122
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	14,602	23,332
未払役員賞与の増減額 (△は減少)	△21,150	△37,646
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△118	△723
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	11,792	△8,464
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	3,826	△14,033
受取利息及び受取配当金	△11,889	△14,141
支払利息	4,062	3,064
為替差損益 (△は益)	16,931	5,013
持分法による投資損益 (△は益)	△25,870	△29,992
固定資産除却損	2,739	437
有形固定資産売却損益 (△は益)	—	△70
投資有価証券評価損益 (△は益)	9,965	3,324
関係会社出資金評価損	108,935	—
投資事業組合運用損益 (△は益)	3,910	2,741
会員権評価損	1,300	200
売上債権の増減額 (△は増加)	71,965	△533,439
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△40,820	64,023
その他の資産の増減額 (△は増加)	50,427	1,766
仕入債務の増減額 (△は減少)	233,871	△403,876
未払消費税等の増減額 (△は減少)	24,025	△4,396
その他の負債の増減額 (△は減少)	98,086	△48,049
小計	1,072,007	△225,838
利息及び配当金の受取額	12,725	14,796
利息の支払額	△4,054	△2,939
法人税等の支払額	△138,031	△583,953
営業活動によるキャッシュ・フロー	942,647	△797,934
投資活動によるキャッシュ・フロー		
信託受益権の取得による支出	△1,280,608	△1,415,056
信託受益権の償還による収入	1,524,498	1,628,038
有形固定資産の取得による支出	△72,455	△66,454
有形固定資産の売却による収入	—	2,962
投資有価証券の取得による支出	△7,535	△107,856
投資有価証券の売却による収入	4,900	2,100
子会社株式の取得による支出	△14,400	—
貸付けによる支出	△29,043	△12,154
貸付金の回収による収入	42,043	17,241
その他の支出	△16,527	△27,473
その他の収入	14,946	7,491
投資活動によるキャッシュ・フロー	165,817	28,838

(単位：千円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 9 月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	16,214,200	16,677,950
短期借入金の返済による支出	△16,996,100	△16,838,750
長期借入れによる収入	20,000	—
長期借入金の返済による支出	△70,389	△35,360
リース債務の返済による支出	△2,505	△4,668
配当金の支払額	△34,390	△102,468
少数株主への配当金の支払額	△6,800	△6,800
財務活動によるキャッシュ・フロー	△875,985	△310,096
現金及び現金同等物に係る換算差額	△17,557	△5,115
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	214,921	△1,084,308
現金及び現金同等物の期首残高	2,279,796	3,126,278
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,494,717	2,041,970

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第 2 四半期連結累計期間(自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年 9 月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント							
	鉄鋼	自動車	電子・ 半導体	ゴム・ タイヤ	環境	紙パルプ	化学	計
売上高								
外部顧客への 売上高	4,568,311	1,835,145	1,725,910	1,248,710	531,899	334,637	392,532	10,637,147
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	4,568,311	1,835,145	1,725,910	1,248,710	531,899	334,637	392,532	10,637,147
セグメント利益	406,716	104,284	79,381	62,418	24,818	18,053	28,571	724,243

	その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
売上高				
外部顧客への 売上高	2,098,121	12,735,269	—	12,735,269
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—
計	2,098,121	12,735,269	—	12,735,269
セグメント利益	81,914	806,157	△289,428	516,729

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食品業界及び造船業界等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額 △289,428千円には、内部利益 222,590千円、連結消去 72,224千円、報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費 △584,243千円が含まれております。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント							
	鉄鋼	自動車	電子・ 半導体	ゴム・ タイヤ	環境	紙パルプ	化学	計
売上高								
外部顧客への 売上高	5,179,461	2,487,038	1,710,801	1,462,755	592,695	331,672	499,052	12,263,477
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	5,179,461	2,487,038	1,710,801	1,462,755	592,695	331,672	499,052	12,263,477
セグメント利益	401,546	70,829	78,179	64,923	24,677	20,031	39,326	699,515

	その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
売上高				
外部顧客への 売上高	2,252,447	14,515,925	—	14,515,925
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—
計	2,252,447	14,515,925	—	14,515,925
セグメント利益	70,355	769,870	△193,766	576,104

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食品業界及び造船業界等を含んでおります。
- 2 セグメント利益の調整額 △193,766千円には、内部利益 311,016千円、連結消去 118,534千円、報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費 △623,317千円が含まれております。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前第3四半期連結累計期間までセグメント利益の調整額に含めておりました販売費及び一般管理費のうち、営業部門に係る費用は、前連結会計年度から合理的な基準によって各セグメントに配分する方法に変更いたしました。

なお、変更後の方法により作成した前第2四半期連結累計期間の報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報は、『Ⅰ 前第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)』に記載しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象
該当事項はありません。